

# 『“肝炎コーディネーター”とは・・・』

肝臓川柳



『橋渡し コーディネートは こうでねえと(ないと)』

(肝炎コーディネーターが橋渡し役としてなっていないと…)

……………ノノノノノ

C型肝炎は、副作用が少ない飲み薬だけで治すことが出来る時代となりましたが、まだ感染を知らない、あるいは知っても治療を受けていない患者さんが多数います。

(C型肝炎約200万人のうち半数以上)

これらの患者さんを積極的に 検査 → 診察 → 治療 に結び付けるために、

“**肝炎コーディネーター**”が、いまクローズアップされています。

“肝炎コーディネーター”とは、肝疾患の専門知識を持ち、肝疾患患者に適切なアドバイスをしたり、相談対応したりすることが出来る、

「**患者さんを(検査→診察→治療)次のステップに進める橋渡し役**」のようですが、職種を問わず誰でもなることが出来ます。

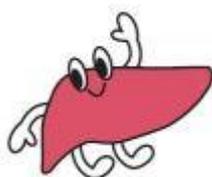
国をあげて養成を推進していますが、福井県でも昨年より県と肝疾患の拠点病院である当院が協働して、本格的に肝炎コーディネーター養成研修会を行っています。

3月10日(木)午後7時より福井商工会議所で行われる第23回肝疾患診療従事者研修会で詳しく紹介されます。

問い合わせは、

福井県済生会病院肝疾患センター (TEL: 28-1197、内線: 2263) まで。

お気軽に!



これだけ覚えておけば損はない!

今 回 の ポ イ ン ト

肝炎コーディネーターは、肝疾患の専門知識を持ち、肝疾患患者に適切なアドバイスをしたり、相談を受けることが出来る、「患者さんを次のステップに進める橋渡し役」であり、その肝炎コーディネーターの養成を国を挙げて推進しています。

(文: 福井県肝疾患診療連携拠点病院運営委員会 野ツ俣 和夫)